

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容を「[ユーザズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警告**：人が死亡する、または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意**：人が軽傷（※ 2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い**：本商品の本来の性能を発揮できていなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- （※ 1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中重度まで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものを示しています。
- （※ 2）軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを示しています。
- （※ 3）物的損害：家具、家電および家電、ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

■ 警告・注意を促す記号 発火注意 感電注意 高温注意 破裂注意	■ 行為を禁止する記号 一般禁止 分解禁止 ぬれ禁止 水ぬれ禁止 風呂等での使用禁止 火災禁止	■ 行為を指示する記号 一般指示 電源プラグをコンセントから抜く
--	---	--

警告

電源

- 100V ACの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷ついたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにものをせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付のACアダプタは日本国内100V AC（50/60Hz）の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご利用ください。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合には、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、eのような使いかたはしないでください。

a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき

b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき

e. 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。

● めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用し、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。
● 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご利用ください。
● 本商品を重ね置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほごりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・ケーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほごりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時ににおけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物にのみアクセスして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルス等を流しデータシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
また、無線 LAN 製品は、セキュリティの観点から使用し方について使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを求めます。
セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社にこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「TW-FI 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。
「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
メンテナンスバージョンアップ機能は暗号化キーを、本商品が再起動するたびに、それぞれ継続して通信が切断されます。また、従量制金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。
発生した通信費用はお客様に負担となります。
本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ送信します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためにだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱う手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱う手続きを同時に適切に実施を実施します。
本機能は、工場出荷時に有効（ON）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（OFF）にしてください。ただし、本機能を有効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。
＜無効にする方法＞
①クイック設定 Web を起動する（※右記「クイック設定 Web の起動方法」）
②ホーム画面の「詳細な項目を表示」－「詳細設定」－「その他の設定」－「その他の設定」を選択します。
③ブリッジモードでご利用の場合は、ホーム画面の「基本設定」－「基本設定」を選択します。
④中継機／子機としてご利用の場合は、ホーム画面の「基本設定」－「基本設定」を選択します。
⑤「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする
⑥「設定」をクリックする

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz、5.8GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 3,36,42,46ch（J52）の表番と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
- IEEE802.11a/n/ac W52 W53 W56

IEEE802.11a/n/ac W52 W53 W56

W52（5.2GHz 帯/36,40,44,48ch）

W53（5.3GHz 帯/52,56,60,64ch）

W56（5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

- W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャネルの通信開始前に、1 秒間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同周波数帯、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体周用構内無線網、免許を要しない特定小電力無線網、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または電波の運用を停止（電波の発射を抑制）してください。
(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

- Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体周用装置の帯域が回遊可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4	：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
IEEE802.11b/g/n	DS/OF	：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
	4	：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■■■	：全帯域を使用し、かつ移動体周用装置の帯域が回遊可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかを選択します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「ユーザズマニュアル」を参照してください。）
- デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
・デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力し、GPL または LGPL にしたいが、複製、頒布および改変することができません。詳細は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせをお願いします。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断復写することは禁止されています。
- ② 本書の内容については、何れも予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書の内容については完全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り・記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ④ 本商品の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⑤ せっかくの機器も不適切な扱いや不適切な事例（例えば落書きや高電圧など）により故障してしまては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

- ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。
※ この他にもサポートデスクの「機種番号で探す」－「WG1200HP」にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせて参照してください。
- ※ 解決しない場合は、本商品を初期化（※下記「初期化方法」）し、はじめてから設定直しをお試しください。
- **CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない**

ご利用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。
- **ACTIVE ランプが色々に点灯している**

故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本商品を中継機／子機としてご利用の場合は、親機と 5GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）
- **クイック設定 Web が開かない**

● ご使用のパソコンが IP アドレスが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
● Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

初期化方法 ① 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する ※電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 60 秒お待ちください。 ② RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）、で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめるた放す ※POWER ランプが赤点滅をはじめるまで約 6 ～ 10 秒かかります。 ③ 本商品から AC アダプタのプラグを取り外して、約 10 秒待ってから差し込む ④ 約 80 秒待つ ※側面（表）のランプが一齐に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。	
--	--

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法 Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。 http://aterm.me/ ※ [aterm.me] 部分も、本商品の IP アドレス（工場出荷状態は 192.168.10.1）にして起動することもできます。 ※ ログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には管理者/パスワードを入力して、「[ログイン]」をクリックしてください。 ※ 管理者/パスワードは、本商品本体のラベルに記載された数字 6 桁のパスワード（Web PW）が初期値となります。この管理者/パスワードは、初期値から変更してください。 （※STEP4）なお、管理者/パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更したパスワードを入力してください。忘れた場合は、本商品を初期化すると（※左記「初期化方法」）、本商品本体のラベルに記載された数字 6 桁のパスワード（Web PW）に戻ります。 ※ クイック設定 Web で設定した内容は、「[設定]」をクリックしたあと本商品を再起動することで登録されます。 ※ ブリッジモード（ルータ機能停止）でご利用の場合は中継機／子機としてご利用の場合は、下記の手順で起動してください。詳細な起動方法は「ユーザズマニュアル」を参照してください。 ① 本商品の電源をいったん切る ② 本商品の LAN ポートとパソコンなどの端末を LAN ケーブルで接続する ③ 本商品ののらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら放す → 本商品の強制 DHCP サーバ機能が起動します。起動中は CONVERTER ランプが緑点滅します。 ④ Web ブラウザのアドレス欄に下記のアドレスを入力して起動する ブリッジモードでご利用の場合： http://192.168.1.210/ 中継機／子機としてご利用の場合： http://192.168.1.245/ 強制DHCPサーバ機能を停止するときは、本商品を再起動してください。〔「設定変更受付完了」画面で「今すぐ再起動する」をクリックするか、ホーム画面の「詳細な項目を表示」－「メンテナンス」－「再起動」画面で「再起動」をクリックしてください。〕 手順で本商品の LAN ポートに接続した LAN ケーブルは、再起動が完了したあと、取り外すことができます。	
● 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続したスマートフォン/タブレット端末をご利用の場合 → [Aterm スマートリモコン] アプリ（無料）でも起動することができます。【ユーザズマニュアル】 ● 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合 → [Aterm 検索ツール] でも起動することができます。【ユーザズマニュアル】	

ブリッジモードで使用する場合は

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のプロードモデムなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。
ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

- ① 本商品の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本商品の電源を入れる
- ※ しばらくして ACTIVE ランプが点灯すれば、ブリッジモードに設定できます。
- ※ ルータ機能内蔵のプロードモデムなどとの接続には、本商品の WAN ポートをご利用ください。

② **STEP4** を参照して、本商品の管理者/パスワードと暗号化キーを初期値から変更する

中継機／子機として使用する場合は

本商品は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続したりして子機（イサネットコポラ）として使用したりすることができます。
本商品を中継機／子機として使用するには、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。

- ※ 下記手順の親機は、Aterm シリーズのみにしています。
- ① 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/CNV モード）切替スイッチが RT 側）で行います。
- ※ **STEP1** の④と**STEP2 → STEP4** の②と④を実施してください。
- ② 本商品の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを CNV 側に切り替え、本商品の電源を入れる
※ しばらくして CONVERTER ランプが点灯したら（緑点灯している場合は子機としてのみ設定され、中継機能は OFF に設定されています。）

お問い合わせ

（2020 年 2 月現在）

※ ホームページ「サポートデスク」 【ご注意】 掲載されているお問い合わせ先は、変更されている場合があります。 最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。	
※ お問い合わせ受付時間（※日、年末年始、当社休日は、システムメンテナンス中は休ませていただきます） 平日9時～午後6時（月～金曜日）、午後9時～午後5時（土曜日）、午前10時～午後5時（日曜日） ※ 受付時間外は、お問い合わせ先へお問い合わせください。	

■ Aterm は、日本電気株式会社登録商標です。 ■ くらくら無線スタート、くらくらネットスタート、くらくら QR スタートは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。 ■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。 ■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Android は、Google LLC の商標または登録商標です。 ■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 ■ QR コード は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ■ その他、各会社名、製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。 © NEC Platforms, Ltd. 2018-2020 NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製、改竄、および複製物を転記することできません。